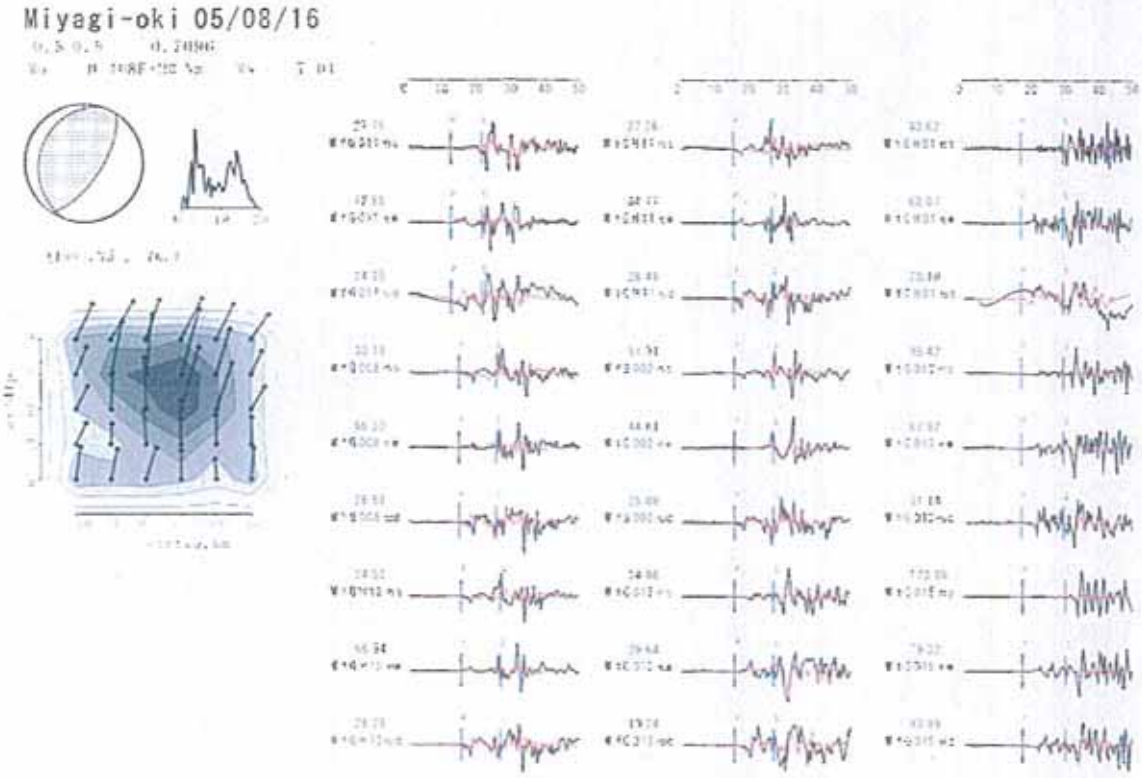

図１　解析結果（震源時間関数，すべり量分布，観測波形と理論波形の比較）
MYG011-ud と MYGH01-ud は参考に計算したもの．

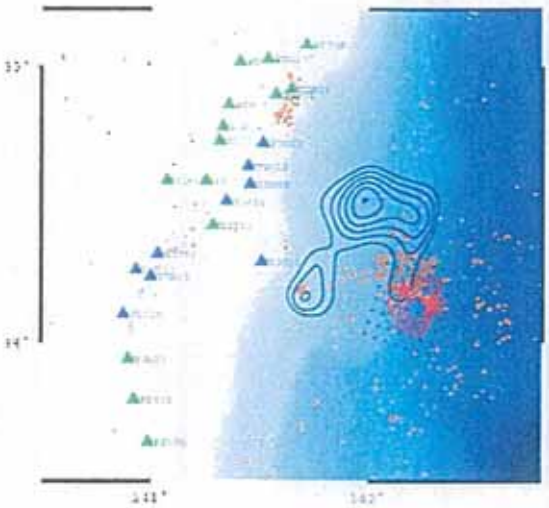

図２　2005 年宮城沖地震と 1978 年宮城沖地震のすべり量分布
赤いコンターは 2005 年の，青いコンターは 1978 年のすべり分布である．●は本震後 19 日間の余震分布である．これらを比較すると余震はアスペリティの端で起こっていることがわかる．この場所では 1978 年宮城沖地震の時も多くの余震が起こった場所であった．